

行政と議会と市民がうまく連携していくことが必要



市民自治推進委員会会長  
田中 寛治さん

現在の市民自治推進委員会は、市の事務事業の外部評価を各部会が担当して行ったり、市議会議員と非常に近いことを行っています。行政と議会と市民とが役割分担する必要があります。行政と議会と市民とが役割分担する必要があると思います。市民自治運動の方向性の一つには、議員と市民のパイプ作りや将来に向けての選挙制度の見直しがあると思っています。行政と議会と市民がうまく連携していくことが、まちづくりの基本だと思っていますが、機能していないのが現状だと思っています。

参画の場が具現化している  
今がチャンス



市総務部長  
高田 明人さん

この市民自治推進委員会は、さま

ざまな議論を積み重ねてきたまちづくり基本条例に、しっかりと位置付けられた組織です。このまちづくり基本条例の持つ理念や目的を具現化する一つの場だと思っています。市民の皆さんやいろんな活動をされている人が、行政に対して不満を持つことはたくさんあります。その一つに、ルール作りに市民が参画していないことがあると思います。参画の広がりや深さを市民が実感しないと、基本的に行政不信になったり、行政への不満になったりするのだからと思っています。市民の皆さんから見ると、今がチャンスだと思っています。参画の場がまちの最高規範条例で担保されていて、それが具現化しているからです。もっと広範に市民自治推進委員会を活用し、行政のルール作りや施策づくり、まちづくりの方向性づくりなど、ダイレクトに参加していただきたいと思っています。

※ ※

このほか、参加者からは「市民全体にかかわる大きな問題について取り組んでいく方がいいのではないか」「現在、市民自治推進委員会で議論していることを、広報紙やホームページで知らせても、あまり知られていない」「各部会がいろんな検討をして、これは市民に伝えたいと思うようなことをつくり上げていくことが大切ではないか」といった意見が

述べられました。

最後に森さんから、「登別市は長い時間をかけて基本条例を作り、さらにこの市民自治推進委員会を作ったことは、ほかのまちと比べて進んでいると実感しました。今後、どうしたらより良い方向にもっていかれるか、よく話し合うことが大切です」と話していました。



北海学園大学法学部教授  
森 啓さん

市民自治推進委員会に参加しませんか

まちづくりに対する考え方はそれぞれですが、自分たちが住むまちを良くしたいという思いは、皆さん誰もがもちだと思っています。

わたしたちの住む『のぼりべつ』をより良いまちにするためには、一人一人が市政に参画し、市民と行政の協働のまちづくりを進めていくことが大切です。そのためには、もっと多くの市民の方の参加が必要です。日ごろから自分もこんなことをやってみたい、こんなことができればいいのにと考えていることを持ち寄って、一緒にまちづくりをしませんか。

市民自治推進委員会の委員を募集しています

- ▶ 応募資格 市民と行政の協働によるまちづくりに賛同し、市内に居住または通勤・通学する18歳以上の方
- ▶ 募集形態 登録制（随時）
- ▶ 委員の身分 無報酬のボランティア
- ▶ 申込方法 市のホームページや市役所本庁舎1階市民コーナー、各支所、市民会館、市立図書館に備え付けの登録申込書に必要事項を記入の上、企画グループへ持参または郵送していただくかEメールでお申し込みください

◎市ホームページ <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>

申し込み・問い合わせ  
**企画グループ**  
☎1122  
〒059-8701  
中央町6丁目11  
Eメール:kikaku@city.noboribetsu.lg.jp